

■推進体制確立と指導計画作成にむけて

平成20年告示の学習指導要領では、重要な改訂点として、推進体制の確立と「新しい指導計画」の作成が求められたという点をあげることができます。

校長が学校における道德教育の基本方針を教職員全員に明確に示し、その方針をもとにして、道德教育推進教師を中心に、全職員が協力して道德教育の諸計画を作成し、効果的な道德教育を展開することが求められています。

■道德教育の全体計画

学習指導要領では、学校における道德教育は、道德の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うことになりました。道德の時間が本当に道德教育の要になるようにするためには、そのための構造を作り上げる必要があります。そのために学習指導要領では、各教科、総合的な学習、特別活動にも、それぞれの特質を生かした道德教育を行わなければならないことが明記されました。

道德教育の全体計画は、道德の時間を要するための構造を示す必要があります。このことから、道德の内容と各教科、総合的な学習の時間、特別活動における指導の「内容及び時期」を示す必要があると明示されています。このことにより全体計画は、内容だけではなく、その紙面においても大きな変容を迫られているのです。

■道德の指導計画作成手順の構想

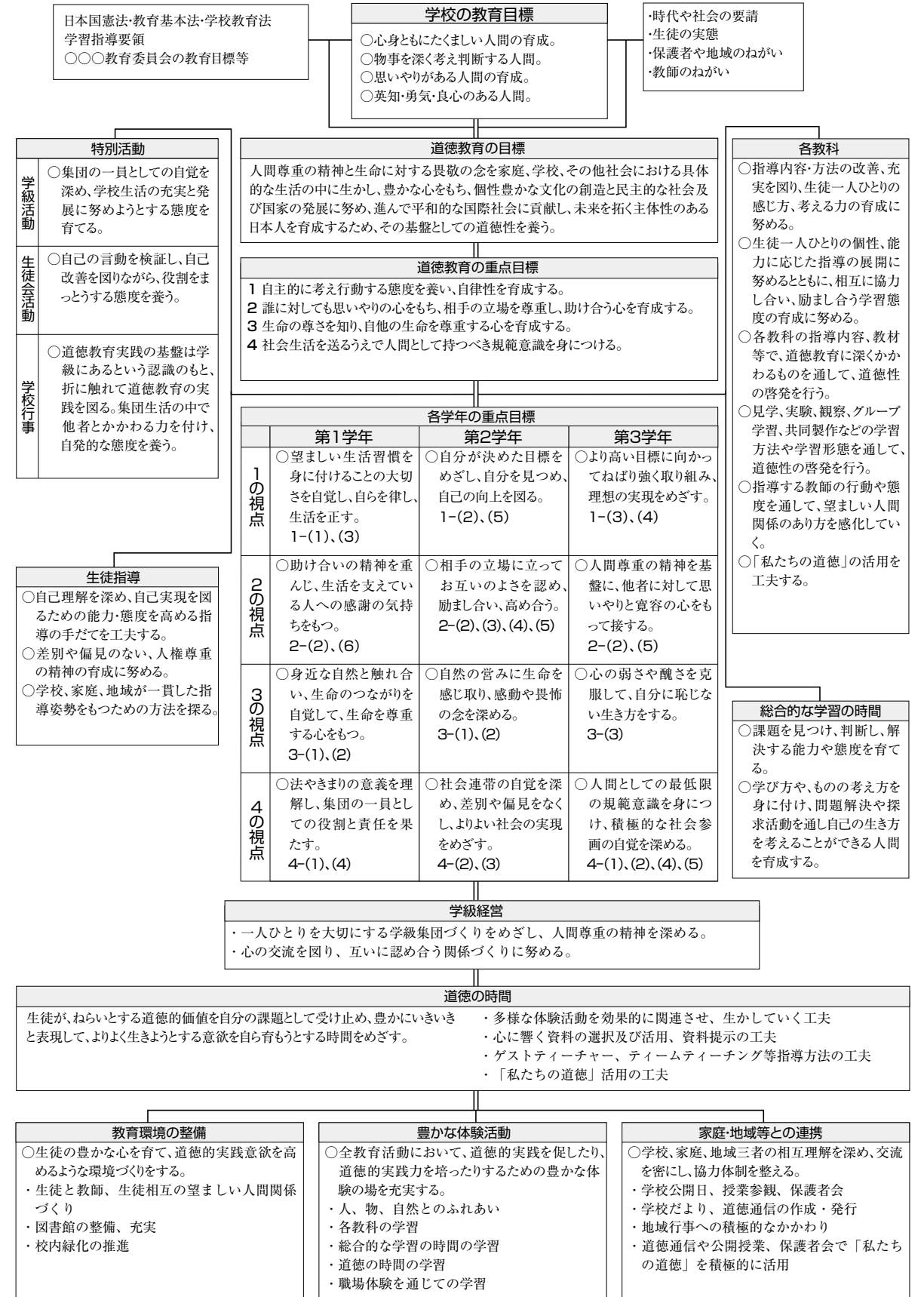
他の教育活動との関連において「内容及び時期」を示すということは、全体計画がそれだけ詳細に検討されなければならず、校長の方針のもと道德教育推進教師を中心に全教師がその作成に携わらなければなりません。この視点から全体計画を構想すると、作成の手順が自ずと整理されてきます。教科などの教育活動の内容軸と時期軸（作業では一本化）と、道德の内容とを縦横に配列する、いわゆるマトリクスで関連づける方法が効果的です。このプロセスを、新年度の諸計画立案と同時に行うことで、全教師の参加を促し、さらに教師が道德の内容について

学習する機会が得られるでしょう。この作業を通し、道德の内容と全教育活動の内容的関連、時期的関連が明らかになり、道德教育で取り扱う内容と時期との整合性を勘案しながら、全体計画を立案していくことができます。

当然にこのプロセスは、爾後に作成する「道德の時間の年間指導計画」や「学級における指導計画」にかかわることがらであり、教師一人ひとりが充実した道德教育の実践のために真剣に向かい合うことが求められているのです。

道德の指導計画立案のプロセスを図示すると以下ようになります。なお、本書次ページ以降に構成例を一部例示してありますので、ご参照ください。

なお、これら一連の指導計画立案をサポートするツールやフォーマットを、ご採用時にお届けの「道德ROM」に収録しております。ぜひご利用ください。





道徳教育全体計画案 ㊦-1 (各教育活動と道徳の内容とのかかわり)

このマトリックスは、学年ごとにそれぞれの教育活動と道徳の内容のかかわりを明らかにする手順として最初の段階であり、道徳諸計画の基準となるもの。この段階の検討なくしては新しい学習指導要領が求める諸計画を立案することはできない。

個別マトリックスの作成

縦軸に月毎に行う個別の教育活動の内容、横軸に道徳の内容を示した配列表で関連を確認。

ここでは「教科(社会)」を例示しているが、「特別活動」、「総合的な学習の時間」も道徳の内容とのかかわりを確認する必要がある。同様の形式で、それぞれ個別のマトリックスを作成する。可能であれば「家庭や地域社会との連携」についても同じ方法で関連をはかるとよい。道徳教育推進教師と当該担当教師が、それぞれの年間指導計画作成段階から取り組むことが望ましい。

(例)社会1年

〇〇立〇〇中学校第1学年

月	単元・学習内容	道徳の視点		道徳の内容項目										道徳の内容項目														
		道徳の内容項目		自分自身					他の人とのかかわり					自然や環境もののかかわり					集団や社会とのかかわり									
		1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)	1-(5)	2-(1)	2-(2)	2-(3)	2-(4)	2-(5)	2-(6)	3-(1)	3-(2)	3-(3)	3-(4)	3-(5)	3-(6)	4-(1)	4-(2)	4-(3)	4-(4)	4-(5)	4-(6)	4-(7)	4-(8)	4-(9)	4-(10)
4月	世界のすがた 歴史のとらえ方		△																									
5月	世界のすがた 世界各地の人々の生活と環境 歴史のとらえ方 文明のおこりと日本の成り立ち		△	△	△																							

かかわりは、教育内容そのものが関連する場合(①)と学習態度などが関連する場合(②)とで、異なる示し方を用いた方がよい。ここでは(①)を「○」、(②)を「△」で示している。学習態度とは、理科の野外授業や、体育実技における集団学習のような、形式面のものをする。

ここでは便宜上、道徳の内容を簡潔に示しているが、限定された表現だけでは的確に捉えることはできない。学習指導要領の道徳の内容及び解説に示された趣旨を十分吟味し検討する。

マトリックスではスペースの制約があり単元名や題材名だけで示している。しかし「教科」においては単元名や題材名だけで内容を捉えることができる場合とそうでない場合がある(たとえば、理科の「天体の日周運動」は単元名から内容を捉えることができるが英語の「Lesson1」では内容は不明である)。したがって各教科が年間指導計画を立てる段階で、単元→題材・教材→学習内容を明示する際に、道徳との関連づけができるよう配慮しなければならない。

なお、この「○」「△」は、あくまでも当該担当教師が各単元・学習内容と関連づけようとする道徳の内容を吟味し、決定されるものであり、同じ単元・学習内容であっても、教師のねらいや意図によって異なるものである。だからこそ、それらを最終的に整理・統合したとき、機能的かつ実効性をもった学校独自の全体計画や年間指導計画が出来上がる。

道徳の内容とのかかわりにとどまらず、そこで使用する読みもの資料を検討の際に参照することで、より多角的な視点から関連を見いだすことができる。



道徳ROM  
全体計画  
「内容及び時期」関連表  
作成ツール  
で用意しました!!

カンタン操作で一連の関連表が作成できる  
あらかじめ月ごとに各教科等の単元(題材)名が入った入力用個別マトリックスフォーマットを、ご採用時ご希望校にお届けの「道徳ROM」に収録しています。必要に応じて加工・修正をしていただいたのち、関連マーク(「○」「△」)を入力していただくと、あとはクリックひとつで本ページよりご紹介している一連の関連表が運動して作成できる画期的ツールです。単元名入力・転記負担軽減のためにご用意したこのツールを、ぜひご活用ください。

道徳教育全体計画案 ㊦-2 (各教育活動と道徳の内容とのかかわり)

〇〇立〇〇中学校第1学年

月	各教育活動	道徳の視点		道徳の内容項目										道徳の内容項目														
		道徳の内容項目		自分自身					他の人とのかかわり					自然や環境もののかかわり					集団や社会とのかかわり									
		1-(1)	1-(2)	1-(3)	1-(4)	1-(5)	2-(1)	2-(2)	2-(3)	2-(4)	2-(5)	2-(6)	3-(1)	3-(2)	3-(3)	3-(4)	3-(5)	3-(6)	4-(1)	4-(2)	4-(3)	4-(4)	4-(5)	4-(6)	4-(7)	4-(8)	4-(9)	4-(10)
4月	言語に出会うために 野原はうたう																											
社会	世界のすがた 歴史のとらえ方		△																									
数学	正の数・負の数		△																									
理科	生物の観察 花のつくりとはたらき																											
英語	Warm-up																											
音楽	歌声をつくろう「校歌」 歌声をつくろう「歌声セミナー」																											
美術	澄んだ目と心で スケッチの楽しみ																											
保健体育	体づくり運動 体育理論		○																									
技術・家庭	オリエンテーション 食事のとり方を考えよう		○																									
総合的な学習の時間	地域再発見①「訪問準備」																											
特別活動	入学式 スポーテスト 健康診断																											
生徒会活動	新入生歓迎集会 前期委員選出																											
学級活動	中学生としての自覚と責任 学級目標、学級組織づくり 学校給食と食習慣 清掃の仕方																											
家庭や地域社会との連携	入学式(保護者の参加) 保護者への方針の提示 道徳通信の発行																											

「㊦-1」の段階で作成したそれぞれの教育活動と道徳の内容とのかかわりをまとめたマトリックスを、学年ごとに月次で配列する。この段階において個別に検討した結果が統合され、月次における全教育活動と道徳の内容のかかわりが明らかになる。

月次マトリックスの作成  
個別マトリックスを統合し月次の配列表作成。  
全教育活動と道徳の月次の関連が明確になる。

この段階では関連項目が可視的に明らかになるが、月次での道徳の内容を決定する際に「○」や「△」の数の多寡だけを判断の基準にするのは好ましくない。その時期における学校の重点課題や、どの教育活動を軸として関連づけるかなど、検討する教師の教育的意図が反映されることが望ましい。関連の決定は次項の年間の関連を示すマトリックスを材料に行われるが、この月次マトリックスの段階で短絡的な結論を示さないよう配慮しなければならない。

「家庭や地域社会との連携」は、学校の教育活動とは分離して学習指導要領で示されている。したがって、教科や特別活動、総合的な学習の時間における学習や活動の内容で、家庭や地域との関連があるものは、この欄に記入するべきであろう。たとえば入学式では地域の関係者に出席を仰ぎ祝ってもらうであろうし、家庭訪問や保護者会、三者面談は、まさに家庭との連携の重要な場である。道徳の内容とのかかわりを精査しながら教育活動全般を検討することで、いままでと違った視点で日常の教育活動を捉える機会となり、教師に新たな気づきをもたらすことにもなる。全教師がかかわるという意義が、ここにある。

道徳教育全体計画案 ③-3 (各教育活動と道徳の内容とのかかわり)

マトリックスを整理し関連早見表を作成  
 「③-1」及び「③-2」の結果をもとに個別的教育活動(単元・項目)と関連する道徳の内容を表にまとめる。

個別・月次マトリックスの配列結果を踏まえ、学年ごとの年間の関連表を示す。教科の単元や活動内容が同じフレームに示される。道徳の内容が複数に及ぶことがあるが、これは学習の内容自体が含む道徳的価値が多岐にわたる場合と、道徳的価値が複合的に絡み合っていることが影響している場合とが考えられる。

この段階において、全教育活動と道徳の内容とのかかわりの全容が把握できることになる。だが、この段階はまだ「集計結果」にすぎず、具体的に学習指導要領の求める「内容及び時期」との関連を踏まえた整理統合や年間指導計画の検討はこれからの仕事となる。各教師はここまでの行程で、道徳の内容について理解を深め、担当する教育の内容が含む道徳的価値についても把握している。ここからの作業は、それらの知識を背景に教師自身がねらいとすること、また、学校としての重点項目など固有の課題を勘案しながら、実効性のある計画づくりに取り組んでいかなければならない。

〇〇立〇〇中学校第1学年

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術
4月	言葉に出会うために 2-(1),2-(2),2-(4), 3-(1),3-(3)	世界のすがた 1-(2),3-(4),(10)	正の数・負の数 1-(2),1-(4)	生物の観察 2-(5),3-(1),3-(2), 3-(3)	Warm-up 2-(1)	歌声をつくろう 「校歌」 2-(3),4-(7),4-(8)	澄んだ目と心で 1-(5),3-(2),4-(10)
	野原はうた 1-(5),2-(2),2-(6),2-(6), 3-(1),3-(2),3-(3)			花のつくりとはたらき 2-(4),3-(1),3-(2)		歌声をつくろう 「歌声セミナー①」 2-(3)	スケッチの楽しみ 1-(5),3-(2)
5月	にじに見える橋 2-(2),2-(3),2-(6), 3-(3),4-(2),4-(4)	世界のすがた 1-(2),2-(5),3-(2), 4-(4),4-(10)	正の数・負の数 1-(2),1-(4)			イメージをふくらませて聴こう「春」 1-(5),3-(2),4-(7),4-(8)	見て、感じて 1-(5),3-(2)
	ダイコンは大きな根? 1-(1),1-(5),3-(1), 3-(2)	世界各地の人々の生活と環境 1-(2),2-(5),3-(2),4-(6),4-(10)		たらしき 1-(2),2-(5),3-(1), 3-(2)	Unit3 はじめまして、プライベート 1-(5),2-(1),2-(3), 4-(6),4-(9)		
		歴史のどうえ方 1-(2),1-(3),4-(9)					
	文明のおこりと日本の成り立ち 1-(2),4-(8),4-(9),4-(10)						
	ちょっと立ち止まって 1-(3),2-(3)	世界各地の人々の生活と環境 1-(2),2-(5),3-(2),4-(6),4-(10)	正の数・負の数 1-(2),1-(4)	根・茎のつくりとはたらき 1-(2),2-(5),3-(1), 3-(2)	Unit3 はじめまして、プライベート 1-(5),2-(1),2-(3), 4-(6),4-(9)	アルトリコーダー 1-(4),4-(4)	自然の形や色を生かして 1-(5),3-(2),4-(10)
3月	木は旅が好き 1-(1),1-(2),1-(3), 1-(4),1-(5)	日本のすがた 1-(2),4-(4),4-(9), 4-(10)	資料の活用 1-(4),2-(5),4-(4)	地層と岩石 3-(1),3-(2),4-(4), 4-(10)	Let's Read -Over the Horizon- 1-(2),1-(4),3-(1), 3-(2),4-(10)	アジアの諸民族の音楽に親しもう 4-(9), 4-(10)	見ることと描くこと 1-(5)
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一 1-(2),1-(4),4-(9),4-(10)					のこされた造形 4-(9)

縦軸を月次すなわち時期とし、横軸を教育内容として示す。

スペースの制約で便宜的に道徳の内容は番号で示す。本来、番号表示は好ましくはないが、道徳教育を語る際は、現実によく使われる。なじみのない教師は、道徳の内容を知るこの機会に、この番号表示になれておくとよいだろう。

個別マトリックスの項でも触れた通り、特に教科の単元名では、それだけで内容を捉えられないものがある。完成した計画には、当然のことながら説明責任も伴う。道徳の内容との関連づけの根拠となった学習内容について、別途に参照資料として用意しておくことが望ましい。

この段階をもって「内容及び時期」を踏まえた全体計画の完成とする考え方もあるが、別述(右ページ上段)しているように、できればここから整理統合し、最終的に次ページに示す「横断的計画表」のような書式の作成をおすすめする。学校の教育活動全体と道徳の内容(読み物資料名も含む)のかかわりが一目でわかる計画表を作成し、その計画に則ることで、新しい教育課程のもと、社会から負託された道徳教育を一層充実し展開していくことが可能になる。

横軸を整理し、関連する道徳の内容をこの部分に示す。機械的に処理すれば、横軸で示された内容の中でのかかわりの多い、つまり「○」や「△」の多い内容が示されることになる。ただし検討に際しては、教育内容により符合するという観点から考えるか、この時期において教師の教育的感や学校の主要な活動とのリンクという観点から捉えるか、学校あるいは教師の意図的な基準が必要となる。この話し合いが「内容及び時期」を決定する重要な段階であり、その意図にこそ学校固有の計画作成の成否がかかる。

保健体育	技術・家庭	総合的な学習の時間	特別活動			家庭や地域社会との連携	関連する道徳の主な内容項目
			(学校行事)	(生徒会活動)	(学級活動)		
体づくり運動 1-(1),1-(5),4-(4)	オリエンテーション 1-(3)	地域再発見① 「訪問準備」 2-(1),2-(2),4-(8)	入学式 2-(3),4-(4),4-(7)	新入生歓迎集会 1-(3),2-(2),2-(3), 4-(4),4-(7)	中学生としての自覚と責任 1-(1),1-(3),2-(2),4-(7)	入学式(保護者の参加) 2-(2),2-(3),4-(4),4-(6)	2-(2) 3-(1) 4-(4)
体育理論	食事のとり方を考えよう 1-(1),3-(1)		スポーツテスト 1-(2),1-(5)	前期委員選出 1-(3),4-(4),4-(7)	学級目標、学級組織づくり 1-(3),1-(5),2-(2),4-(4)	保護者への方針の提示 4-(6)	
			健康診断 1-(1),3-(1)		学校給食と食習慣 1-(1),3-(1)	道徳通信の発行 4-(6)	
					清掃の仕方 1-(1),1-(3),2-(2), 4-(5),4-(7)		
器械運動 1-(2),1-(5)	製品の設計 1-(5)	地域再発見② 「情報収集」 4-(8)	野外活動 2-(2),2-(3),4-(4), 4-(8)	生徒総会準備 1-(3),4-(4),4-(5), 4-(7)	学習計画と学校図書館利用 1-(1),1-(3)	家庭訪問(保護者との面談) 2-(1),4-(6)	4-(6) 1-(1) 1-(5) 3-(2)
	栄養素のはたらきを知ろう 1-(1),3-(1)		交通安全・防犯教室 4-(1),4-(1)	生徒総会 1-(3),4-(4),4-(5), 4-(7)	野外学習への参加 2-(2),2-(3),4-(4), 4-(8)	生徒の個別状況の報告 1-(1),4-(6)	
					道路と交通安全 1-(4),2-(4),4-(8)	学校間連携 4-(7)	
					生活習慣直し 4-(6)	道徳通信の発行 4-(6)	
器械運動 1-(2),1-(5)	製品の設計 1-(5)	地域再発見③ 「インタビュー」 4-(8)	地域清掃 1-(3),4-(4),4-(5)	委員会活動の強化 4-(4)	学級生活の点検と改善 1-(1),3-(3)	家庭・地域社会等との連携 4-(6)	1-(2) 2-(3)
ダンス 1-(5),2-(5),4-(4)	衣服の計画と再利用について考えよう 1-(1),1-(3),4-(2), 4-(6)	地域再発見④ 4-(8)	卒業式 2-(6),4-(7)	送別週間の活動 2-(6),4-(7)	年間の反省と2年生への心構え 1-(1),2-(2),4-(1)	道徳教育講演 2-(1),4-(8)	4-(7) 1-(2) 4-(10)
欲求やストレスへの対処と心の健康 1-(2),2-(5),4-(1)			大掃除 4-(7)	生徒会誌発行 4-(5),4-(7)	送別週間への取り組み 2-(6),4-(7)	道徳通信の発行 4-(6)	
			修了式				
			離任式 2-(6),4-(7)				



道徳教育全体計画案 ③-4 (各教育活動と道徳の内容とのかかわり)

③-4 年間の教育活動と道徳学習内容を示す  
「③-3」で示された道徳の内容から、当該時期に学習  
する内容を選定し各教育活動とリンクする。

これまで、それぞれの視点から作成した3つのマトリックス  
を最終的にまとめたもので、各学年ごとに年間計画として整  
理統合する段階である。道徳の内容を決定し、このような  
「横断的計画表」を作成することで「内容及び時期」が一目  
でわかる。

この計画表は一連のプロセスの最終段階である。学校における一年間の教育内容を縦横に示し、さらに関連する道徳の内容がその実施時期とともに一目でわかる構成である。多くの学校でこのような計画表がこれまで作成されてきたが、それぞれの教育活動と道徳の内容が深く吟味されることは少なかった。しかし、一連のプロセスを経て、道徳教育推進教師を中心に全教師が作成にかかわることによって完成したこの計画案は、学校の教育方針を具現する大きな足がかりとなり、学校固有の信条を教育に生かす手づるとなるはずである。

〇〇立〇〇中学校第1学年

	特別活動			総合的な学習の時間	家庭や地域社会との連携	教科	各教科と道徳の内容とのかかわり		副読本「中学生の道徳 1 自分を見つける」
	学校行事	生徒会活動	学級活動				単元・学習内容		
4月	入学式 スポーツテスト 健康診断 3-(1)	新入生歓迎集会 2-(2) 前期委員選出	中学生としての自覚と責任 2-(2) 学級目標、学級組織づくり 2-(2) 学校給食と食習慣 3-(1) 清掃の仕方 2-(2)	地域再発見①「訪問準備」 2-(2)	入学式(保護者の参加) 2-(2) 保護者への方針の提示 道徳通信の発行	国語 言葉に出会うために 2-(2) 社会 数学 生物の観察 3-(1)、花のつくりとはたらき 3-(1) 理科 英語 音楽 美術 保健体育 技術家庭	言葉に出会うために 2-(2) 生物の観察 3-(1)、花のつくりとはたらき 3-(1)	1.美しく自分を染めあげて下さい 【よりよい自己の追求】 — 2.おぼあちゃんの指定席【優しい心】 2-(2) 3.自分の番 いのちのボタン 【いまを生きる大切さ】 3-(1)	
	野外学習 交通安全・防犯教室 校内写生会 1-(5) 家庭訪問 4-(6)		学級活動と道徳の内容とのかかわりは「学級の指導計画」を作成する際の参考となる。道徳教育推進教師が適宜助言し、担任教師が学級の目標など学級個別の事項をこの部分に示す計画案を別途作成することも考えられる。学校や学年の方針を踏まえつつ担任教師が目指す学級づくりに役立てることができらるだろう。	地域再発見②「情報収集」	家庭訪問(保護者との面談) 4-(6) 生徒の個別状況の報告 1-(1) 4-(6) 学校間連携 道徳通信の発行 4-(6)	国語 社会 数学 理科 光合成と呼吸 1-(1)、根のつくりとはたらき 1-(1) 英語 Unit2 みんな友達 1-(5) 音楽 イメージをふくらませて聴こう「春」 1-(5) 美術 見て、感じて 1-(5) 保健体育 器械運動 1-(5) 技術家庭 栄養素のはたらきを知ろう 1-(1)、製品の設計 1-(5)	光合成と呼吸 1-(1)、根のつくりとはたらき 1-(1) Unit2 みんな友達 1-(5) イメージをふくらませて聴こう「春」 1-(5) 見て、感じて 1-(5) 器械運動 1-(5) 栄養素のはたらきを知ろう 1-(1)、製品の設計 1-(5)	4.三六五×十四回分のありがとう【家族のきずな】 4-(6) 5.出船の位置に【日々の心構え】 1-(1) 6.ほくの性格をつくった友人【自分をきたえる】 1-(5)	
5月	地域清掃	委員会活動の強化	学級生活の点検と改善	地域再発見③「インタビュー」	家庭・地域社会等との連携	国語		7.人のこころ【善悪を支える感謝】 2-(6)	

学級活動と道徳の内容とのかかわりは「学級の指導計画」を作成する際の参考となる。道徳教育推進教師が適宜助言し、担任教師が学級の目標など学級個別の事項をこの部分に示す計画案を別途作成することも考えられる。学校や学年の方針を踏まえつつ担任教師が目指す学級づくりに役立てることができらるだろう。

その月次の道徳の時間で使用する読みもの資料と関連する教科の単元・学習内容および道徳の内容項目とのかかわりをここに示す。

道徳の時間で扱う読みもの資料を示す。併せて道徳の内容も示す。この項を設けることで、「道徳の時間の年間指導計画」や「学級における指導計画」とこの計画案をリンクすることができる。

6月	卒業式 2-(6) 4-(7) 大掃除 4-(7) 修了式 離任式 2-(6) 4-(7)	送別週間の活動 2-(6) 4-(7) 生徒会誌発行 4-(7)	年間の反省と2年生への心構え 送別週間への取り組み 2-(6) 4-(7)	地域再発見④「地域とのかかわりを考える」	道徳教育講演 道徳通信の発行	保健体育 技術家庭		33.旗【思いやり】 2-(2)
						国語 木は旅が好き 1-(2) 社会 数学 理科 英語 Let's Read -Over the Horizon- 1-(2) 音楽 美術 保健体育 欲求やストレスへの対処と心の健康 1-(2) 技術家庭	木は旅が好き 1-(2) Let's Read -Over the Horizon- 1-(2) 欲求やストレスへの対処と心の健康 1-(2)	34.二枚の写真【愛校心】 4-(7) 35.木箱の中の鉛筆たち【くじけない心】 1-(2)

特別活動、総合的な学習の時間および家庭と地域社会との連携は、道徳とのかかわりが多岐にわたる。したがって、教育内容をすべて示したうえで、その月次の道徳の内容と特に重点的にかかわるものについて、道徳の内容項目番号を併記するとよい。

●一連の計画案作成の行程は、各教育活動と道徳の内容とのかかわりを明らかにすることであるが、同時にそれは、すべての教育活動が個々に内包している道徳的価値に気づく行程でもある。教育基本法は「教育の目的は人格の形成である」と明示している。この一連の作業を通し、教育の原点たる人間育成のために必要な示唆を得ることができるであろう。道徳教育推進教師は、まずこのことの意義を学校の全教師に伝えることが大切である。

この計画案は、全体計画はもとより道徳の時間の年間指導計画や学級の指導計画と関連づけることができる。あるいは諸計画立案の段階でそのベースとして利用することも可能である。学年ごとに、学校の教育活動全体が示され、さらに道徳の内容との関連づけがされている点、画一的になりがちな全体計画を、学校の教育方針を実現する具体性をもって支えることができる一覧表である。学力重視も大切な視点であるが、人間形成教育は学校のもっとも大きな役割である。一連のプロセス、そしてこの計画案は各学校が描く理想の人間像をもとに、生きる力の基盤となる「人間」そのものを育てる教育の原動力となるはずである。